

（公社）日本地すべり学会 関東支部・（一社）斜面防災対策技術協会 関東支部 「令和元年東日本台風(19号)災害による富岡市内匠[たくみ]地区の災害と対策工の見学」 開催報告

1. 実施概要

関東支部では、平成27年度より（一社）斜面防災対策技術協会 関東支部との共催事業を行っております。今年度は、令和元年東日本台風(19号)によって災害が発生した富岡市内匠[たくみ]地区の被災状況や対策工事状況について、現地見学会を行いました。以下に報告します。

- (1) 開催日：令和3年10月21日（木）
- (2) 開催場所：群馬県富岡市内匠[たくみ]地区
- (3) 主催：（公社）日本地すべり学会 関東支部 および
（一社）斜面防災対策技術協会 関東支部
- (4) 協力：群馬県県土整備部砂防課・富岡土木事務所
日本サーベイ株式会社、岩井建設株式会社、
タルヤ建設株式会社
- (5) 参加人数：30名

2. 現地見学会の内容

令和元年東日本台風(19号)は、東日本を中心とした広範囲に大雨、暴風をもたらし、死者行方不明者100名を超える災害となりました。群馬県内でも記録的な雨量を観測し各地で洪水、土砂災害が相次ぎ、死者4名の人的被害が発生しました。このうち3名は、富岡市内匠[たくみ]地区で発生した土砂災害によるものです。

内匠[たくみ]地区は、土砂災害警戒区域外にあたることから、災害発生状況やそのメカニズムが注目され、富岡市が検証委員会を立ち上げるなどして調査が行われた箇所です。

見学会では、まず冒頭で本見学会の開催に協力して頂いた群馬県県土整備部砂防課小池次長様に災害発生状況と対策工の概要について説明して頂きました。続いて調査と対策工設計を行った日本サーベイ（株）の担当者から個々の具体的な説明を受けました。対策工は集水井と現場打ち法枠工が施工中の段階で、説明を受けた後に、各自、自由に見学をしました。調査で掘削したボーリングコアの前では、技術者同士による活発な議論が交わされるなど、有意義な見学会となりました。

3. おわりに

関東支部では、来年度以降も（一社）斜面防災対策技術協会 関東支部との共催事業を実施していく予定です。

最後に、見学会を合同で開催しました（一社）斜面防災対策技術協会 関東支部の関係者各位に厚く御礼を申し上げますと共に、協力頂いた群馬県県土整備部砂防課・富岡土木事務所、他関係者に厚く御礼申し上げます。



写真-1 斜面上部での概要説明



写真-2 対策工(集水井)見学状況



写真-3 ボーリングコアの確認



写真-4 現地での集合写真

(関東支部幹事会 木村勝美)